

6月17日、三浦半島地域連合・横須賀中央駅にて16名で再開!!!



三浦半島地域連合は地域に『顔の見える活動』として、連合の日街頭行動を月に1回、三浦半島地域の主要駅（大船駅・逗子駅・横須賀中央駅・京急久里浜駅・追浜駅）で行い、三浦半島地域連合議員団や三浦半島地域連合役員が、その月のテーマを訴える中で、ビラ入りの労働相談ティッシュを配付してきました。

しかし、2020年1月から日本国内にも新型コロナウイルスが流行し始めて、2020年2月の連合の日街頭行動を最後に、約2年4か月に渡り中止をして来ました。

6月17日（金）18時から横須賀中央駅にて地域連合役員14名、議員2名（角井・長谷川各横須賀市議会議員）合計16



名にて2年4ヵ月ぶりに再開しました。新型コロナウイルス対応として拡声器でのPRはせず、ティッシュ配付は手袋をして行いました。約1時間で2,000セット準備したほぼ配付を完了しました。

今回は労働相談・同一労働同一賃金・過半数代表などを訴えました。今後は毎月開催し、労働者代表として様々な訴えを三浦半島地域主要駅で行っていきます。次回は7月15日（金）18時から横須賀中央駅になります。構成組織各位のご協力をお願いいたします。

